

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制の課程 国際教養科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名5分程度
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。第3学年で評定1の教科がある場合、または英語の評価が評定3以下の場合は審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動の記録、特記事項、総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接 [30点満点]

3名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し点数化する。3名分を合計したものを評価点とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 目的意識	高校生活に対する意欲、将来の目標が明確である。
ウ 適性・態度	質問内容を把握し適切に回答することができる。服装や身だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付いている。

(3) 作文 [20点満点]

2名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し点数化する。2名分を合計したものを評価点とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	作文の得点	総得点
評定			
135点	30点	20点	185点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。